

第9回 町長定例記者会見

- 開催日時 平成28年6月6日(月)午後1時30分～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 5人

はじめに、4月14日に発生した平成28年熊本地震により、亡くなられた方々とそのご遺族に対しまして、町民とともに深く哀悼の意を表し、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を願うものであります。

町といたしましては、日本赤十字社を通じて義援金を送るとともに、日本赤十字社遠軽町分区として、町内の各種団体や事業所に協力を依頼し、温かい支援が寄せられているところです。

また、災害派遣活動として、4月18日から5月3日まで、陸上自衛隊第25普通科連隊からも約200人の隊員が被災地に派遣され、その間の留守家族を支援するため、協定に基づき、役場内に相談窓口を設置したところであります。

次に、特急オホーツクの一部区間短縮方針についてであります。6月2日にJR北海道から網走・札幌間を1日4往復運行している特急オホーツクについて、一部の運行を網走・旭川間に短縮したい旨の説明がありました。

この提案につきましては、現在使用している車両の老朽化に伴うものであり、平成29年春のダイヤ改正に合わせて実施したいとのことであります。

このことにつきましては、昨年度の経営効率化において、JR北海道から石北本線は必ず守るとの話があったところであり、町といたしましては、決して了承することのできない提案でありますので、今後、北海道及び関係市町村とも連携し、運行区間の現状維持に向け、JRと十分に協議を進めてまいりたいと考えております。

次に、5月18日の深夜、町内西町において不審火による住宅火災が発生し、近隣の住宅が全焼しました。町内では4月23日の早朝にも空き家が全焼する同様の火災が発生しており、遠軽警察署と消防署では、火災原因を調査中ということであります。

今年に入ってから、例年と比較して多くの火災が発生しており、町といたしましても、6月2日付で火災予防を呼び掛ける「広報えんがる瓦版」を配布したところであります。

町民の皆様には、今後ともより一層、火災予防に注意していただくようお願いするところであり、

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■6月定例議会議案から

6月13日から、遠軽町議会定例会が開会されます。議案の中から、主なものについてご説明申し上げます。

・麦乾燥調製貯蔵施設の再編整備について

このたびの議会に補正予算を計上いたしますが、遠軽、丸瀬布、生田原、上湧別の4地区それぞれの施設で実施していた麦の乾燥、調製、貯蔵を、JAえんゆうが事業主体となり、遠軽の施設を増設して再編整備を図るものであります。これによりまして、小麦調製コストの削減や麦品質の向上が図られ、当地域における小麦生産の振興と農業経営の安定化につながることを期待するものであります。

完成予定は、平成28年度中で、平成29年度から年間4,560トンの麦の受け入れを目指しております。

■白滝発電所について

平成26年6月に譲渡いたしました、白滝発電所について御報告を申し上げます。こちらの発電所は、譲渡先であります「株式会社工営エナジー」により順調に更新工事が進められており、7月15日にオープンセレモニーが予定されております。

発電所の工事以外におきましても、周辺には「旧水車及び発電機の展示」「ハイブリッド街路灯の設置」「駐車スペースの設置や植樹」も予定されており、さらには、発電所を紹介するパンフレットの作成や、小中学校の見学受け入れに向けた学習用の小冊子の作成も予定されております。

完成後の発電所は、年間216万キロワットアワーの発電を予定しており、この規模は、おおむね一般家庭の約600戸分の使用量に相当するものであります。

なお、発電した電気は全量が売電され、収益の一部は地域貢献として遠軽町にご寄附いただけることになっております。

白滝地域住民の願いでもありました発電が再開され、さらに地域振興や教育環境充実の一翼を担っていただけるものと期待するところであります。

■「遠軽町旭川医科大学医師養成確保修学資金貸付事業」及び「医師または看護師に係る奨学資金の償還に関する特例」について

地域医療を担う医師や看護師の養成及び確保を図り、町民への安定的な医療提供体制を確立することを目的として、平成27年第4回遠軽町議会において議決されましたこれらの制度ですが、本年4月1日から運用が開始されました。

旭川医科大学の学生に対する医師養成確保修学資金の貸付けにつきましては、募集に対して1名の応募がありました。応募者は、本制度の趣旨を十分理解し、地域医療への取り組みに対しても、しっかりとした考えを持っていると判断しましたので、貸し付けを決定したところであり、卒業後は地域医療への貢献を期待しているところであります。

なお、修学資金の貸付けにつきましては、募集を継続しておりますので、地域医療を志す学生の応募を期待しているところであります。

また、町内の医療機関に勤務し、一定の条件を満たす医師または看護師に対し、遠軽町奨学資金の償還を免除する、奨学資金の償還に関する特例につきましては、1名が特例を受ける措置を開始しており、来年度も1名が申請を予定しているとのことであります。

■福祉センターの建て替えに係る予定地の一部用地等の寄附について

平成32年度の完成に向けて準備を進めている文化センターの機能を持った福祉センターの建て替えにつきまして、このたび、建設予定地の一部について寄附を受けました。

寄附されたのは、旧遠軽中央病院の土地と建物でありまして、寄附者は遠軽学田病院を運営する医療法人恵池会であります。

今後も整備に向けて、準備を進めて参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

■遠軽ICの道の駅整備について

このインターチェンジの開通に合わせて整備を進めております道の駅につきまして、実施設計に向けて準備を進めているところでありますが、現在、その核となる分野の一つであります、特産品などの販売と食を提供する形式、商品開発などの検討を行う「産業・食部会」に参加していただける町民の方を募集しております。

より多くの皆様にご参加いただき、訪れる人に愛され、利用していただける道の駅となるよう、ご協力をお願いいたします。

■地域おこし協力隊事業について

昨年着任し、ジオパーク推進課に所属する江村隊員に続き、4月1日付けで、金丸太一隊員が、6月1日付けで山村正彦隊員が着任しました。

金丸隊員は農政林務課に所属し、森林整備に従事し、山村隊員は丸瀬布総合支所産業課に所属し、自然環境保全業務に従事します。

また、8月には観光振興に向けた新たな女性隊員の着任を予定しており、都市部に住んでいた隊員たちの新たな視点で、まちづくりに活躍してくれることを期待しているところがあります。

■大型免許等資格取得支援事業について

昨年に引き続き行っております大型免許等の取得支援事業につきまして、平成27年度は72名、取得免許で84件の助成を行いました。今後も制度を継続し、多くの皆様にご利用いただき、若い人たちの人材育成、雇用機会の拡大に努めてまいります。

■紋別空港を利用した町外者向け補助について

紋別空港を利用し、町内の民間宿泊施設を利用した方に対し、片道2,500円、往復5,000円を補助する制度を新たに開始いたしました。

始まって間もないということもあり、申請はまだ多くはありませんが、さらに制度をPRし、各宿泊施設にも活用していただいて、より多くのお客様を遠軽にお迎えしたいと考えております。

■陸上自衛隊遠軽駐屯地創立65周年記念行事及び市中パレードについて

7月3日に陸上自衛隊遠軽駐屯地創立65周年記念行事が開催されます。これにあわせまして、前日の7月2日に市中パレードが行われます。

内容については今後、検討されますが、実施につきまして皆様のご協力をお願いいたします。

■第44回まるせっぷ藤まつりについて

道内随一の「まるせっぷ藤園」が見ごろを迎え、すでに多くのお客様にご覧いただいているところです。

この藤園を舞台に、6月12日、まるせっぷ藤まつりが開催されます。

今回は「なんでだろう」でおなじみの「テツ and トモ」のお2人によるメインステージをはじめ、遠軽高校吹奏楽のコンサート、歌謡ショーなどが予定されております。

藤の花の見ごろは少し過ぎてしまいましたが、多くの皆様にイベントをお楽しみいただければと思います。

また、この藤まつりを皮切りに、遠軽町は夏の観光シーズンに入り、様々なイベントが予定されております。

多くの皆様にお越しいただき、遠軽町の夏をお楽しみいただければと考えております。